

※2017年11月改訂（第3版 新記載要領に基づく改訂）
 ※2013年9月改訂（第2版）

届出番号：13B1X00072001205

機械器具 74 医薬品注入器
 一般医療機器 手動式圧注入調節装置 13100001
 （手動式生体用洗浄器 34630000）

加圧用カフ

C フューザ

【禁忌・禁止】**

原則として空気が封入されている液剤バッグを使用しないこと。[空気塞栓症になる恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

●C フューザ



MX4805 500mL

MX4810 1000mL

【使用目的又は効果】**

本品は、輸液用ソフトバッグに外から一定圧を加えることによって、輸液の滴下を調整する。または、生理食塩水バッグ等に外から一定圧を加えることによって身体の一部に液体を噴出し、衛生状態の維持や治療の一環として用いる。

【使用方法等】**

●C フューザ

1. C-フューザを IV ポールに取り付け、オープンにし液剤バッグを中に入れる。〈図①〉
2. バッグフックに液剤バッグを取り付け、所定の位置に吊り下げる。ベルクロテープをとめ、C-フューザと液剤バッグを固定する。〈図②〉
3. ストップコックをオープンにし、圧力計で圧を確認しながら加圧する。このとき、圧力計のレッドゾーンは過剰に加圧されていることを示す。ストップコックのプラグの off を C フューザの方へ回すと、圧が維持される。
4. ストップコックのプラグの off をゴム球の方へ回すと、カフが脱気され減圧する。



図①



図②

【使用上の注意】**

●使用注意

- ・脱気した後、圧力計の表示がゼロにならない場合は、破損している可能性があるため使用しないこと。
- ・加圧のしすぎや誤使用は、破損や不具合の原因ともなるので決して行わないこと。
- ・長期間使用しているとカフが変色する場合がある。
- ・圧力計を落としたり、ぶつけたり、液体に浸漬させてしまった場合はすぐに圧力計が適切に機能しているか点検すること。
- ・定期的に圧力計の精度を確認すること。
- ・必要以上に加圧せず、300mmHg 以下で使用すること。
- ・鋭利なものを接触させないこと。

【保管方法及び有効期間等】

●保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分を含んだ空気により悪影響の生じるおそれのない場所に保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

●使用期限

- ・本品は取扱い方法により製品の劣化具合が異なる。製品の劣化状態等を見極め、劣化、破損等がみられた時は交換すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・本品は使用前に破損、汚損を確認すること。
- ・消毒液に浸漬しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

●製造販売業者

株式会社アムコ
 TEL：03-3265-4261

●外国製造業者

業者名：スミスメディカル ASD 社 (Smiths Medical ASD, Inc.)
 国 名：アメリカ合衆国